

市民ニーズ等の把握に係る意識調査

(1) 調査概要

【1】調査目的

高槻市では、平成 23 (2011) 年度を初年度とする「高槻市都市計画マスタープラン」を策定し、まちづくりに取り組んできた。

平成 32 (2020) 年度に同計画の目標年次を迎えることから、市民がまちづくりについて、どのように考えているかを把握し、新しい都市計画マスタープランの策定等に役立てることを目的とする。

【2】調査項目の概要

- あなたご自身について (問1【1】～【9】)
- 高槻市都市計画マスタープランについて (問2【1】～【3】)
- 市の施策について (問3【1】～【4】)
- 人口減少・高齢化への対策について (問4【1】～【3】)
- 定住意向について (問5【1】～【5】)
- 身近なお住まいの地域のことなどについて (問6【1】～問6【3】)

【3】調査方法

調査対象	高槻市に居住している 18 歳以上の市民 5,000 人
抽出方法	住民基本台帳からの無作為抽出
調査形式	調査票による本人記入 (郵送配布・郵送回収)
調査期間	平成 30 年 10 月 31 日～平成 30 年 11 月 30 日

【4】配布回収結果

配布数	回収数	回収率
5,000	2,358	47.2%

【5】グラフの見方

- ・回答率 (%) は、回答者数を基数 (n=number of case の略) として算出している。
- ・複数回答の回答率 (%) は、回答者を母数として算出しており、集計結果の合計が 100%を超える。
- ・端数処理の関係で合計が 100%を超える場合がある。

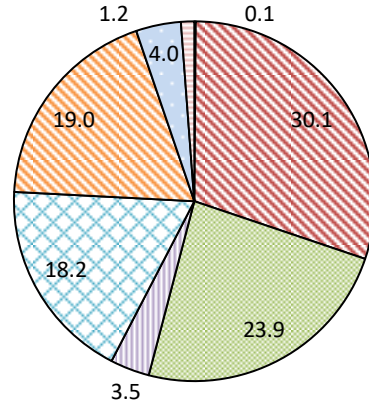
(2) 調査結果の概要

【回答者属性】

【1】お住まいはどちらですか。

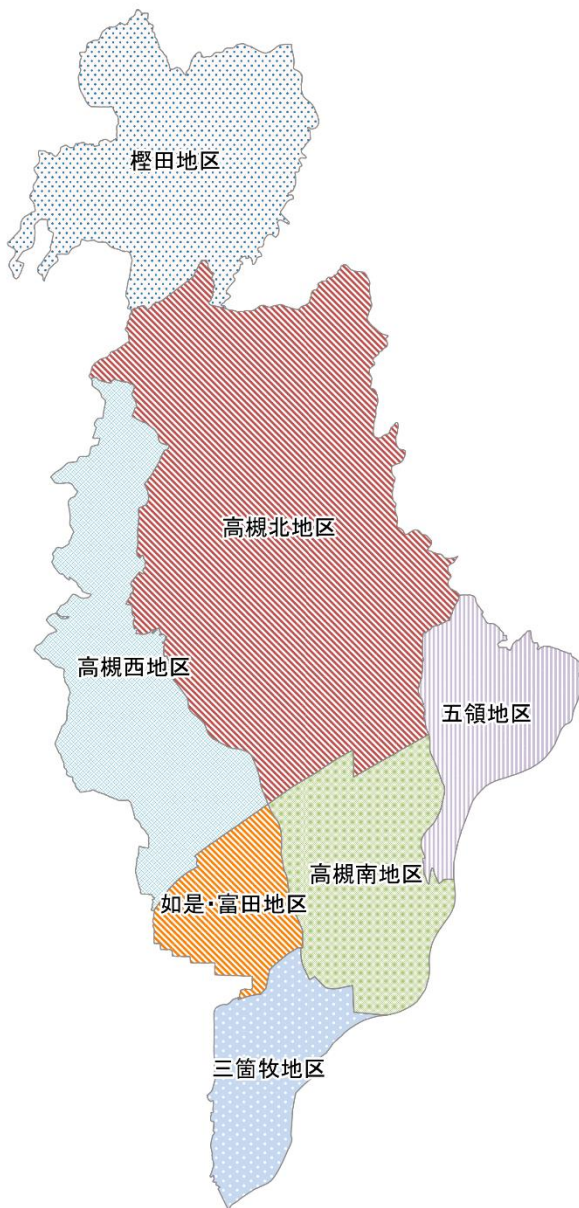
(単数回答)

- 住まいの地域は、「高槻北地区」が30.1%と最も多く、次いで「高槻南地区」が23.9%、「如是・富田地区」が19.0%、「高槻西地区」が18.2%となっている。



- 榎田地区
- 高槻北地区
- 高槻南地区
- 五領地区
- 高槻西地区
- 如是・富田地区
- 三箇牧地区
- 無回答

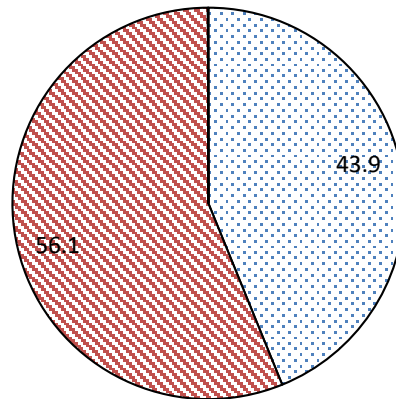
※地区について



【2】性別はどちらですか。

(単数回答)

- 性別は、「男性」が 43.9%、「女性」が 56.1%であり、女性の方が多くなっている。

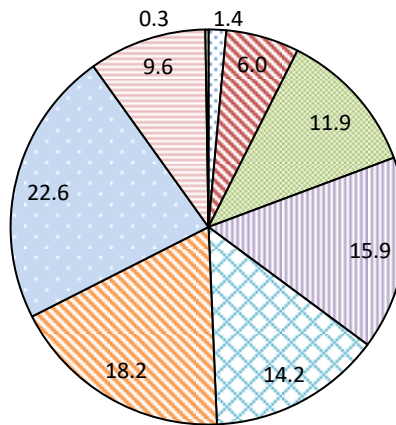


- 男性
- 女性
- 無回答

【3】年齢はおいくつですか。

(単数回答)

- 年齢は、「70 歳代」が 22.6%と最も多く、次いで「60 歳代」が 18.2%、「30 歳代」が 15.9%となっている。
- 60 歳以上が 50.4%と半数を占めている。

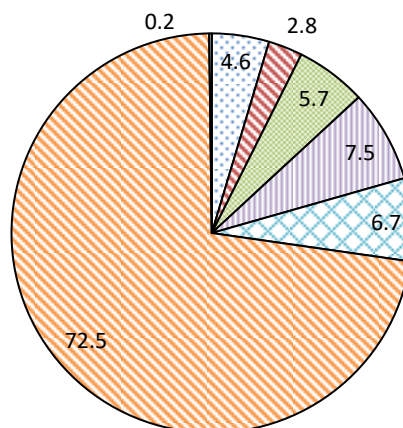


- 10歳代
- 20歳代
- 30歳代
- 40歳代
- 50歳代
- 60歳代
- 70歳代
- 80歳以上
- 無回答

【4】高槻市に何年お住まいですか。

(単数回答)

- 居住年数は「20年以上」が 72.5%と最も多く、次いで「10～15年」が 7.5%、「15～20年」が 6.7%となっている。

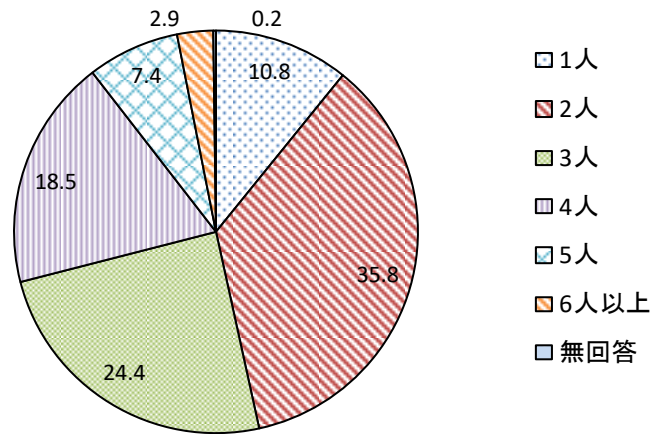


- 3年未満
- 3～5年未満
- 5～10年未満
- 10～15年未満
- 15～20年未満
- 20年以上
- 無回答

【5】あなたを含めて何人でお住まいですか。

(単数回答)

- 世帯人数は、「2人」が 35.8%と最も多く、次いで「3人」が 24.4%、「4人」が 18.5%となっている。

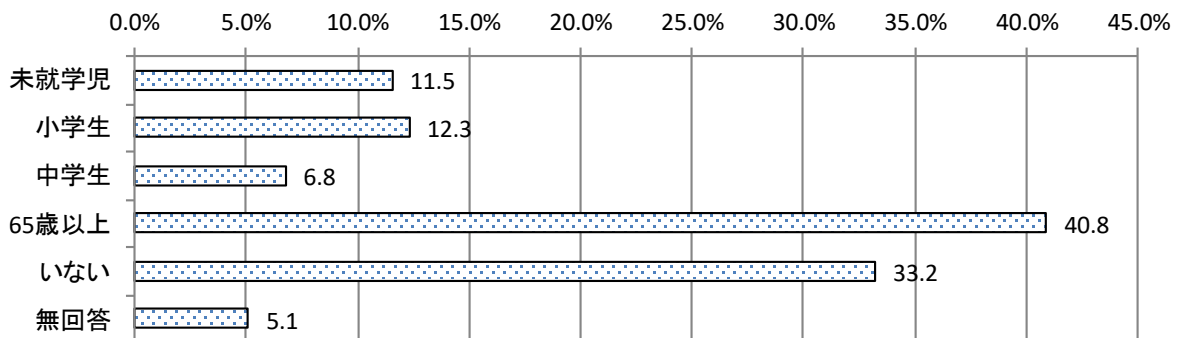


【6】同居している家族に次の方はいますか。

(複数回答)

※【5】で2～6を選んだ方(2人以上でお住まいの方)のみ

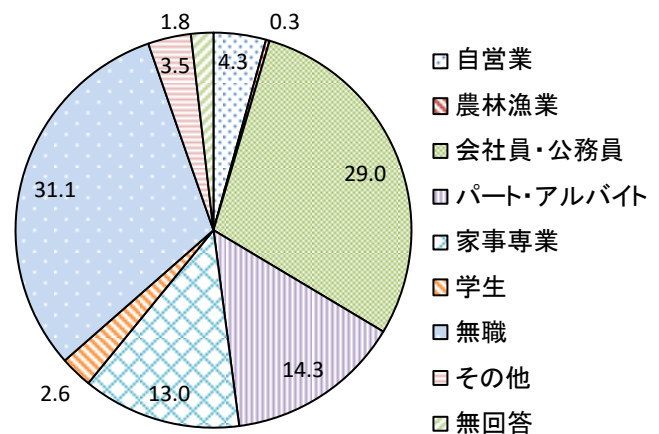
- 同居世代は、「65歳以上」が 40.8%と最も多く、次いで「いない」が 33.2%、「小学生」が 12.3%となっている。



【7】職業は何ですか。

(単数回答)

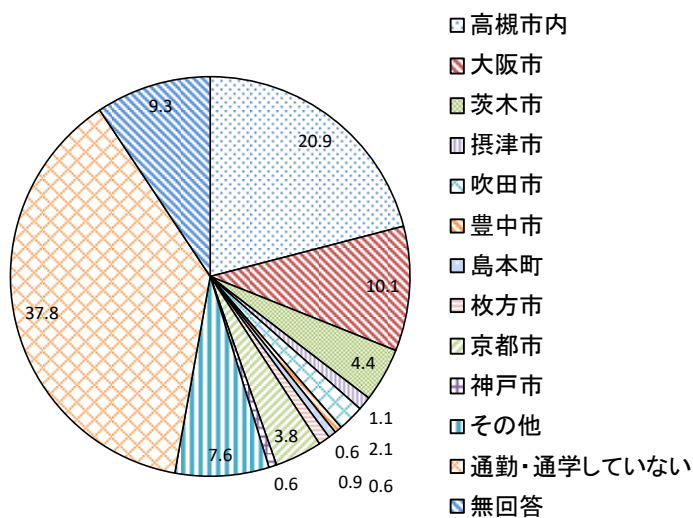
- 職業は、「無職」が 31.1%と最も多く、次いで「会社員・公務員」が 29.0%、「パート・アルバイト」が 14.3%となっている。



【8】 通勤・通学先はどちらですか。

(単数回答)

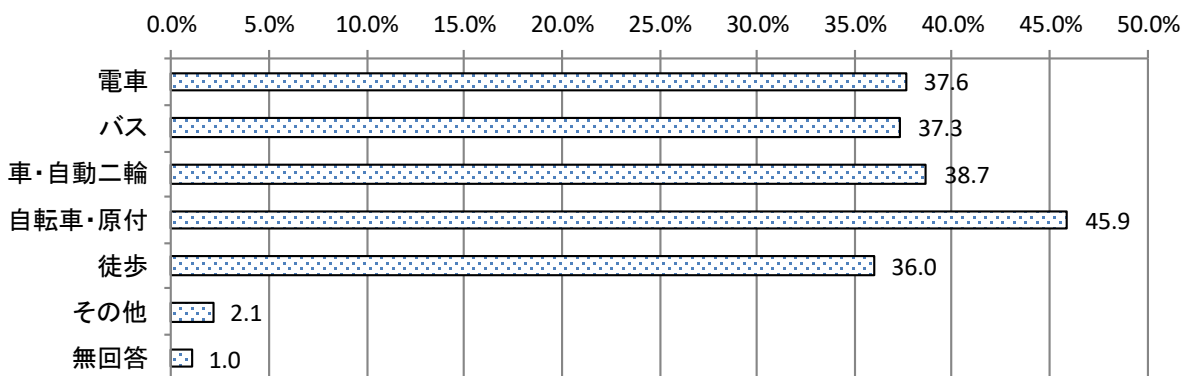
・通勤・通学先は、「通勤・通学していない」が37.8%と最も多く、次いで「高槻市内」が20.9%、「大阪市」が10.1%となっている。



【9】 日常生活を送る中で、主に利用する移動手段は何ですか。

(複数回答)

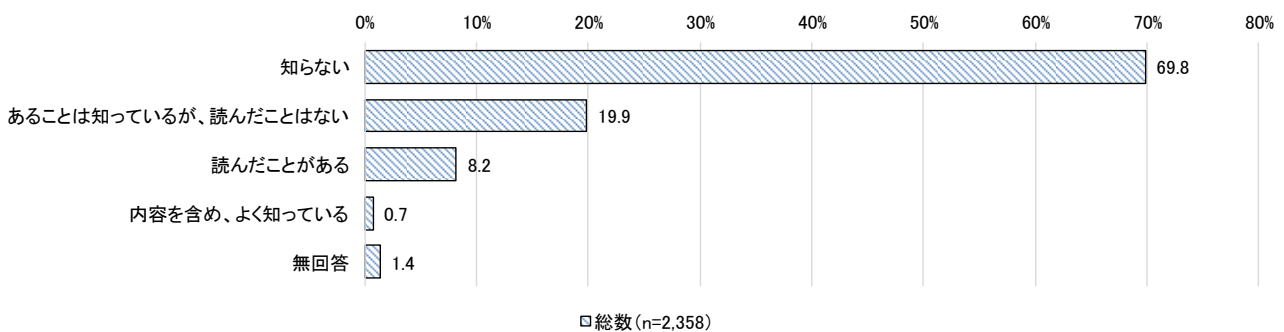
・主な移動手段は、「自転車・原付」が45.9%と最も多く、次いで「車・自動二輪」が38.7%、「電車」が37.6%となっている。



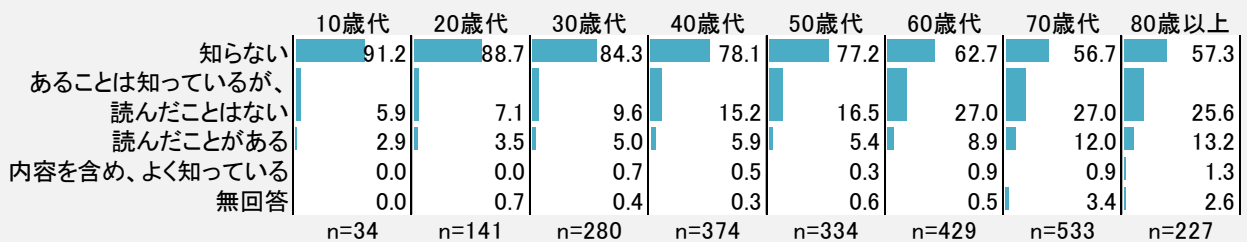
【都市計画マスタープランの認知度と理解度】

- 都市計画マスタープランの認知度は、「知らない」が69.8%、「あることは知っているが、読んだことはない」が19.9%となっている。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて、「知らない」の回答者は減少傾向にある。
- また、都市計画マスタープランの理解度については、「概ね理解できるが、分かりにくい部分もある」、「専門的で難しく、分かりにくい」の合計が回答者の7割を超えている。次期計画の策定においては、認知度と理解度の向上についても留意が必要と考えられる。

問2【1】あなたは、高槻市都市計画マスタープランをご存知ですか。（単数回答）

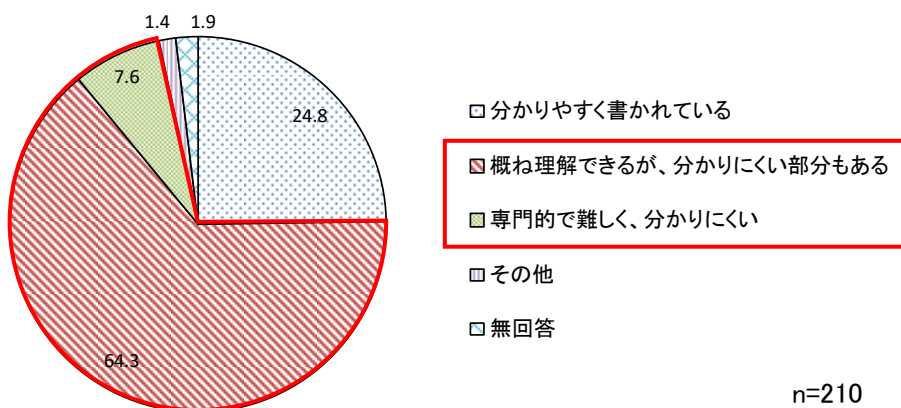


(年代別)



問2【2】高槻市都市計画マスタープランの内容についてどのように思いますか。（単数回答）

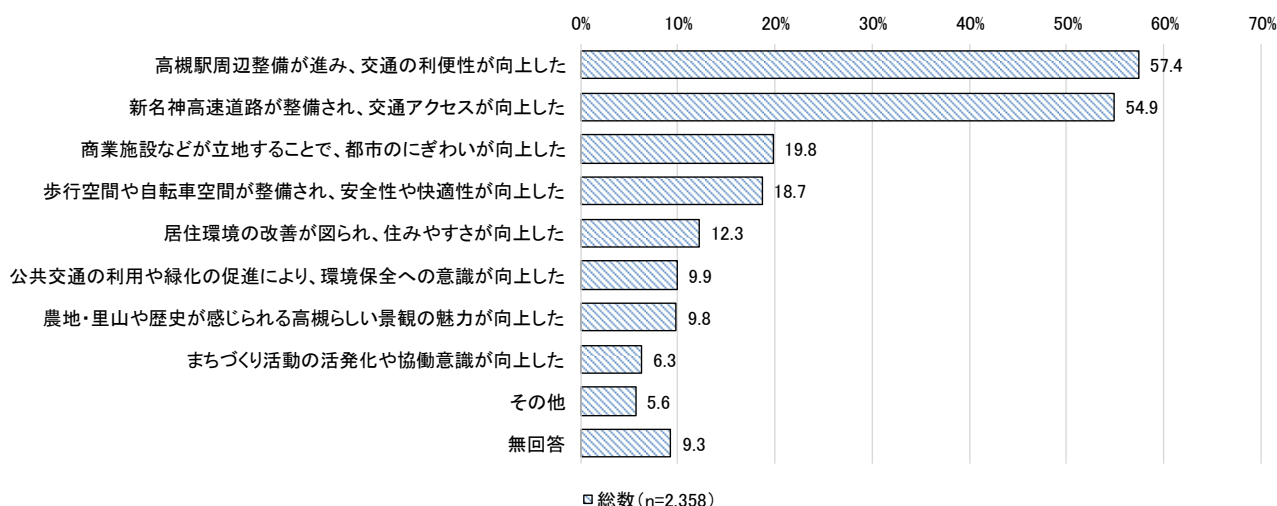
(問2【1】で「内容を含め、よく知っている」・「読んだことがある」の回答者のみ)



【まちが良くなったと思うところ】

- まちが良くなったと思うところは、「高槻駅周辺整備が進み、交通の利便性が向上した」が57.4%、「新名神高速道路が整備され、交通アクセスが向上した」が54.9%となっており、ここ10年でまちづくりの主な動きが比較的高い評価を受けている。

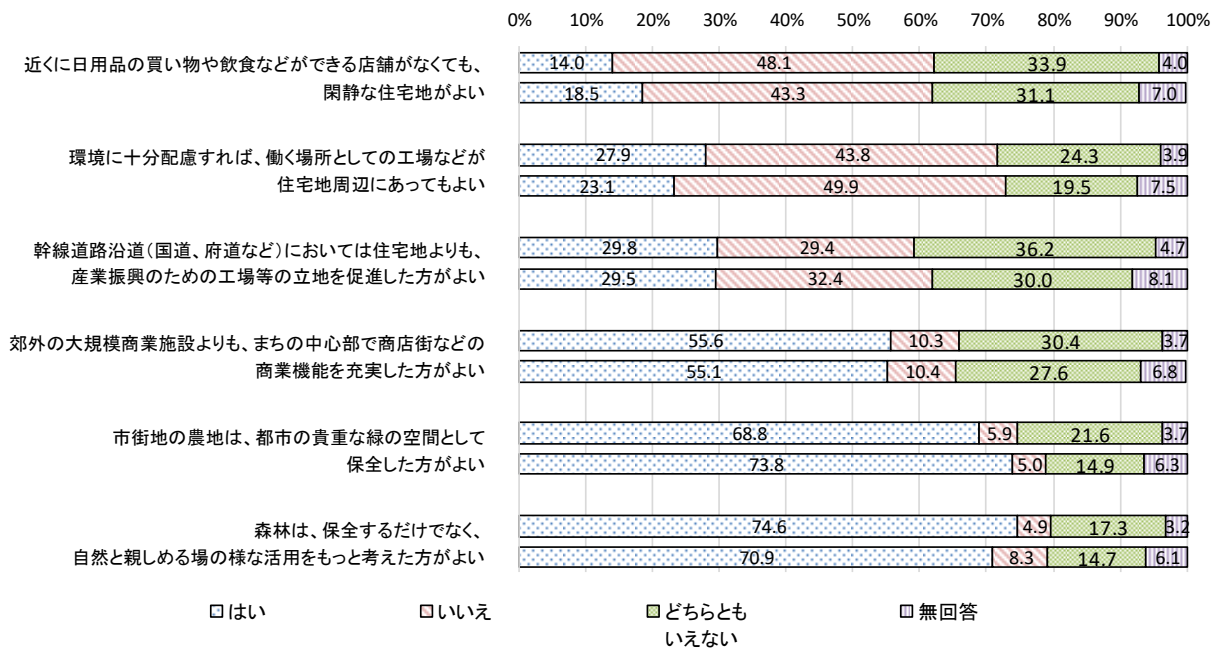
問2【3】あなたが、ここ10年で高槻のまちが良くなったと思うところはどのような点ですか。
(高槻市での居住年数が10年未満の方は、ここ数年の印象をお聞かせください。)
(複数回答)



【土地利用】

- 土地利用は、「郊外の大規模商業施設よりも、まちの中心部で商店街などの商業機能を充実した方がよい」が55.6%、「市街地の農地は、都市の貴重な緑の空間として保全した方がよい」が68.8%、「森林は、保全するだけでなく、自然と親しめる場の様な活用をもっと考えた方がよい」が74.6%と「はい」が「いいえ」を上回っている。
- 一方で、「近くに日用品の買い物や飲食などができる店舗がなくても、閑静な住宅地がよい」が48.1%、「環境に十分配慮すれば、働く場所としての工場などが住宅周辺にあってもよい」が43.8%と「いいえ」が「はい」を上回っている。
- 「幹線道路沿道（国道、府道など）においては住宅地よりも、産業振興のための工場等の立地を促進した方がよい」は「はい」と「いいえ」が概ね同じ割合の回答となった。
- 前回調査と比較して、概ね同様の結果となっている。

問3【2】本市の土地利用に関してどのように望みますか。（単数回答）

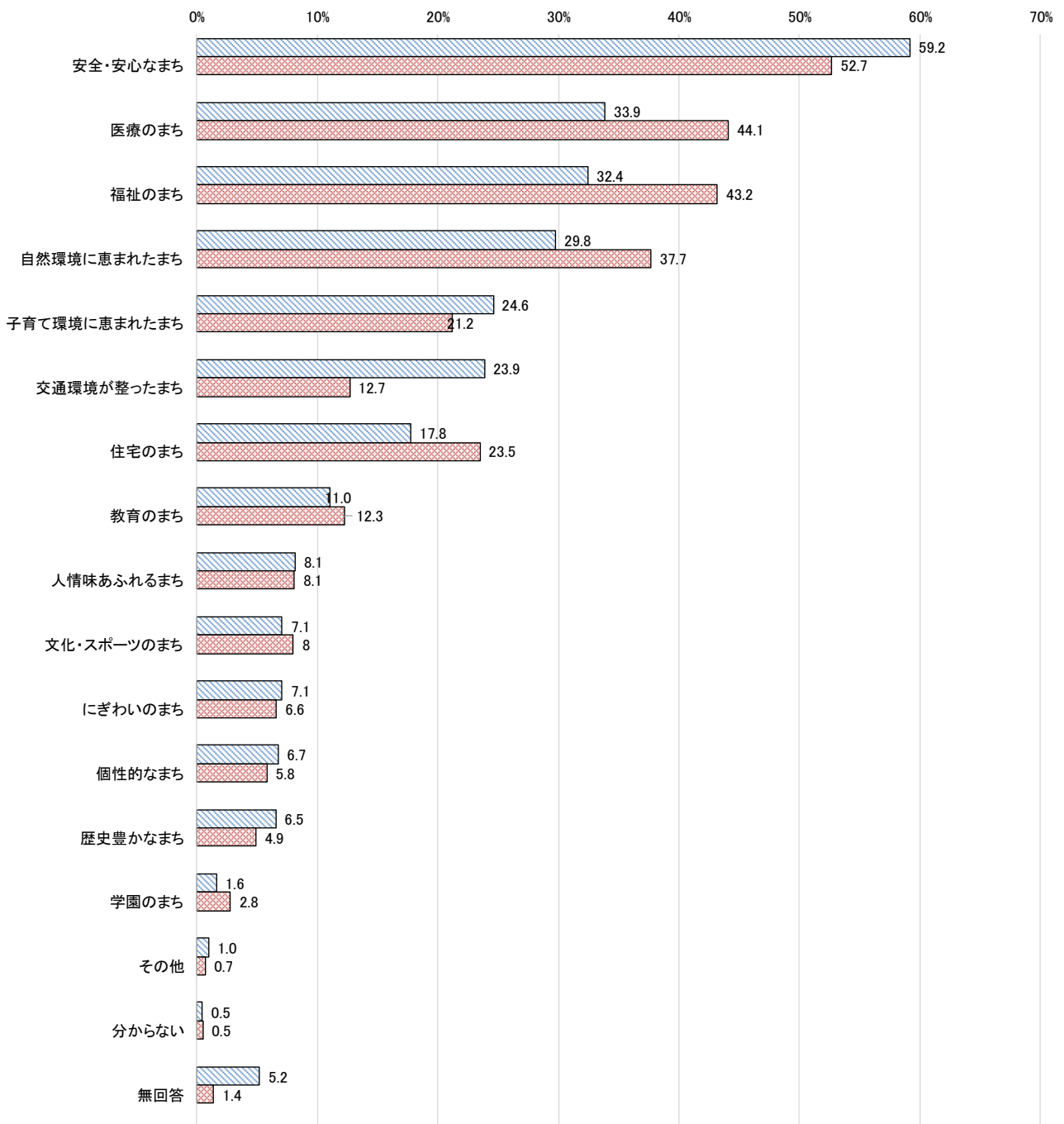


(上段：本調査 (n=2,358) / 下段：前回 (2009年) 調査 (n=2,427))

【まちの発展イメージ】

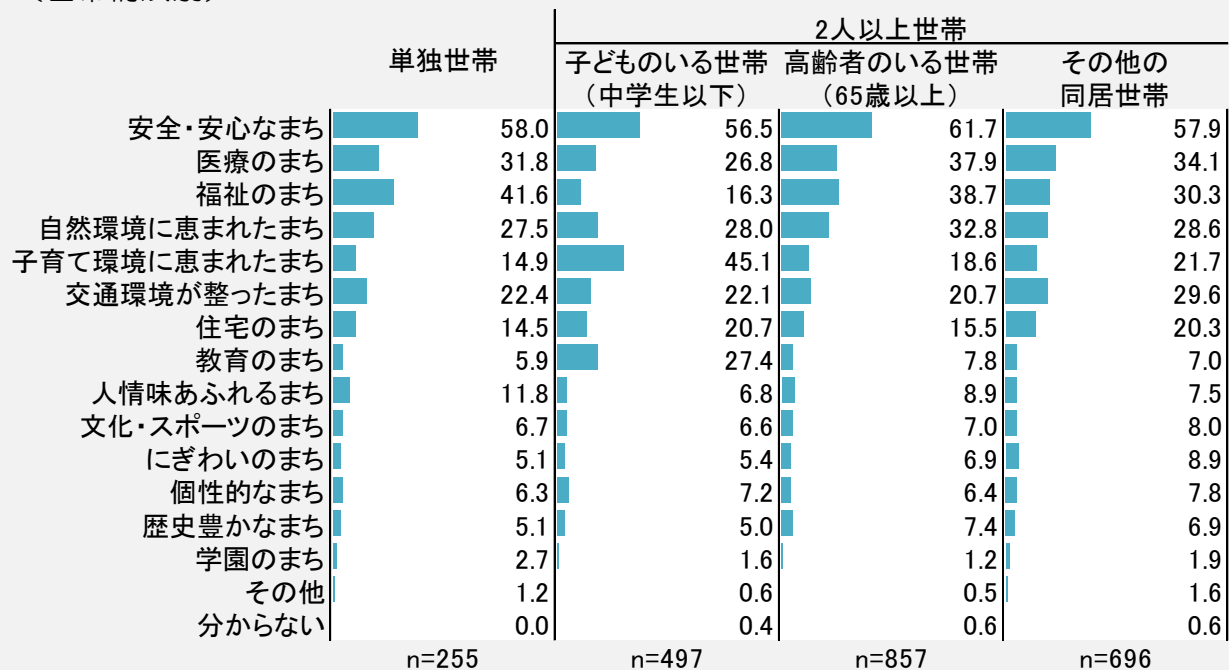
- まちの発展イメージは、「安全・安心なまち」が59.2%となっており、前回より6.5ポイント増加している。次いで、「医療のまち」が33.9%、「福祉のまち」が32.4%となっている。
- 世帯構成別にみると、子ども(中学生以下)のいる世帯は、「子育て環境に恵まれたまち」が45.1%、「教育のまち」が27.4%となっており、他の世帯構成とは異なり「医療のまち」、「福祉のまち」を上回っている。

問3【3】本市がどのようなまちに発展していくことを望みますか。(複数回答)



□ 総数 (n=2,358) □ 前回 (2009) (n=2,427)

(世帯構成別)



【施策評価】

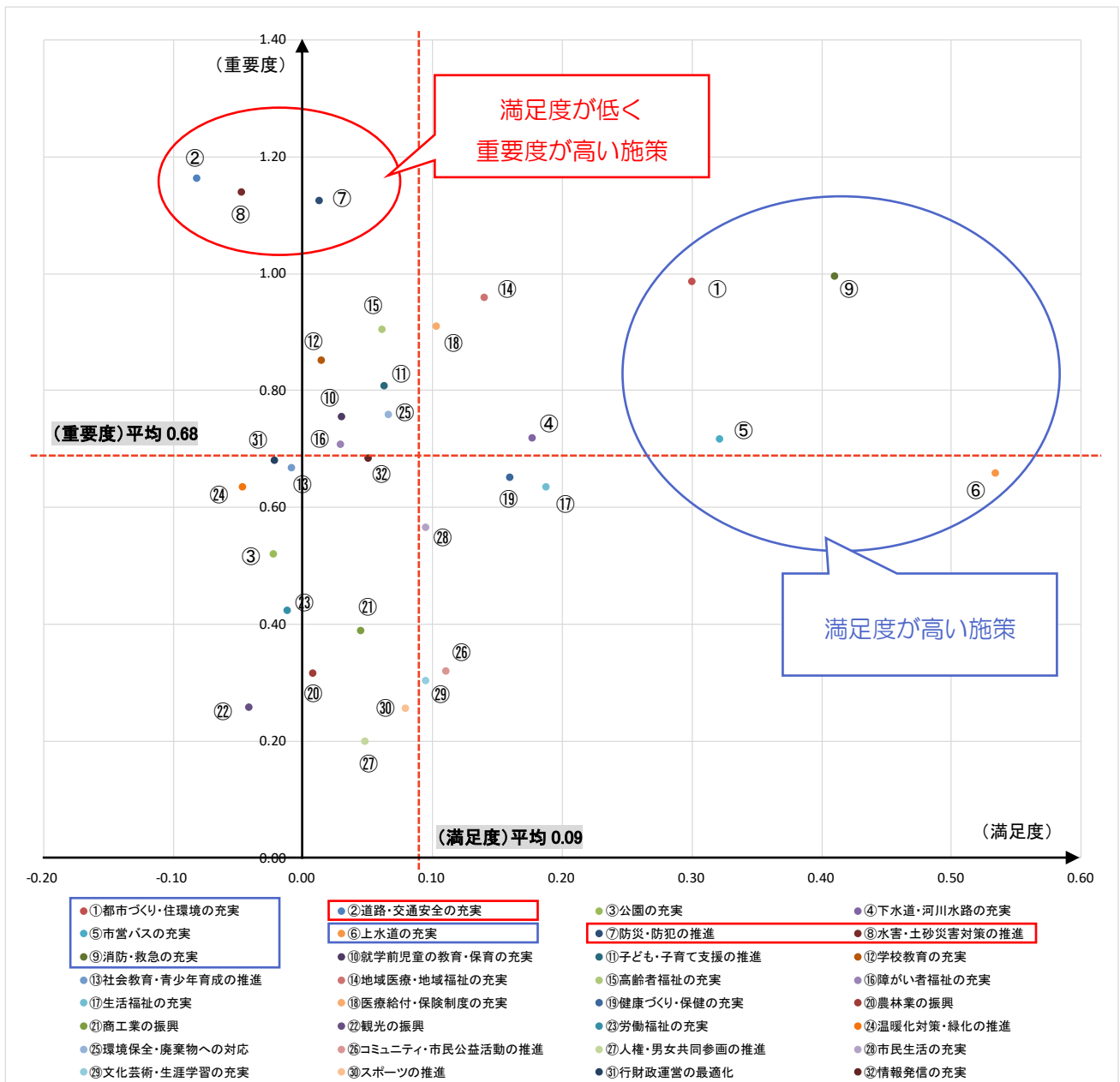
- ・施策評価は、「①都市づくり・住環境の充実」、「⑤市営バスの充実」、「⑥上水道の充実」、「⑨消防・救急の充実」が満足度の高い施策となっている。
- ・一方で、重要度が高く、満足度が低い施策は、「②道路・交通安全の充実」、「⑦防災・防犯の推進」、「⑧水害・土砂災害対策の推進」となっている。市内交通や災害・犯罪に対する安全性などが求められていることがうかがえる。

問3【4】本市がこれまで取り組んできた、下記のそれぞれの項目について、

①現在の満足度と②今後の重要度をお聞かせください。（単数回答）

【分析平均点の算出方法】

$$\text{満足・重要度} = \frac{\text{「満足・重要」} \times 2 + \text{「やや満足・やや重要」} \times 1 + \text{「やや不満・あまり重要でない」} \times (-1) + \text{「不満・重要でない」} \times (-2)}{\text{回答数}}$$

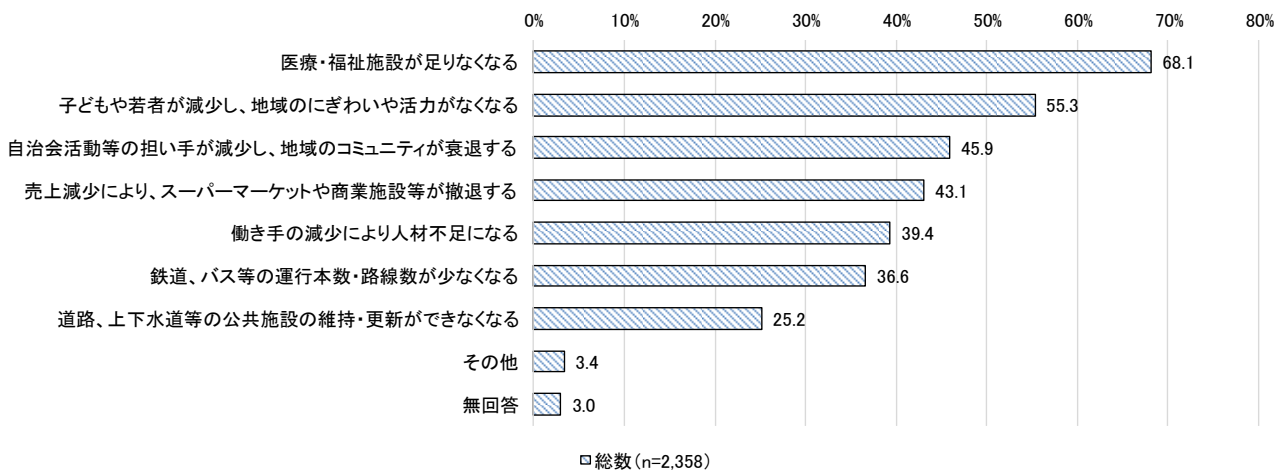


【人口減少・高齢化の影響】

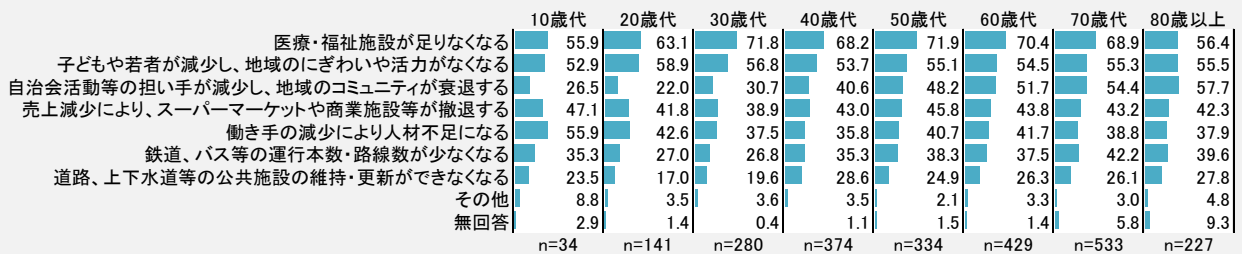
- 人口減少・高齢化の影響は、「医療・福祉施設が足りなくなる」が68.1%、次いで「子どもや若者が減少し、地域のにぎわいや活力がなくなる」が55.3%となっている。
- 年代別にみると、年代が上がるにつれて「自治会活動等の担い手が減少し、地域のコミュニティが衰退する」の回答者は増加傾向にある。

問4【1】人口減少・高齢化が進行することで、あなたの生活にどのような影響があると思いますか。

(複数回答)



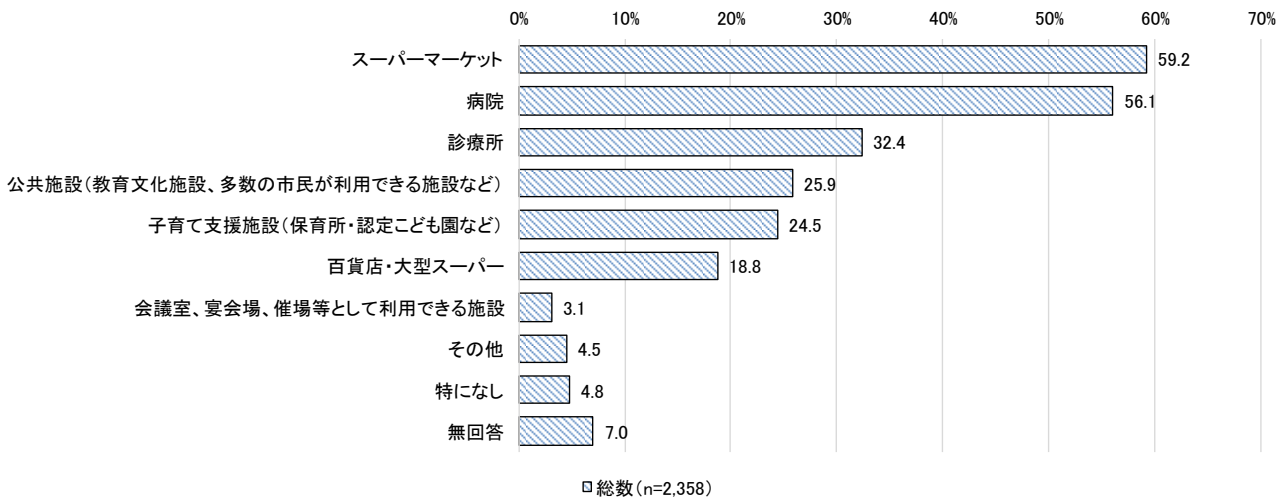
(年代別)



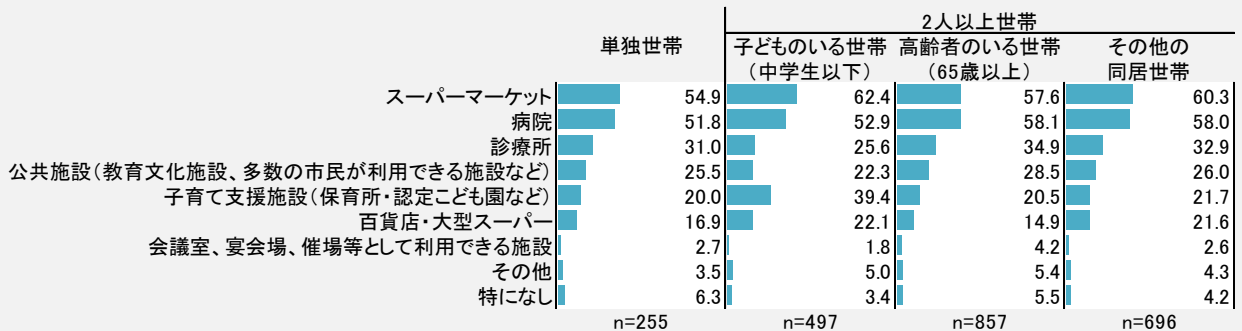
【日常生活に必要な施設】

- 日常生活に必要な施設は、「スーパーマーケット」が 59.2%、「病院」が 56.1%、「診療所」が 32.4%となっている。
- 世帯構成別に見ると、子ども（中学生以下）のいる世帯は、「スーパーマーケット」、「病院」に次いで、「子育て支援施設」が回答者の3割を超えており、他の世帯構成とは異なる傾向が見られる。

問4【2】あなたは、日常生活を送る中でどのような施設が必要だと感じていますか。（複数回答）



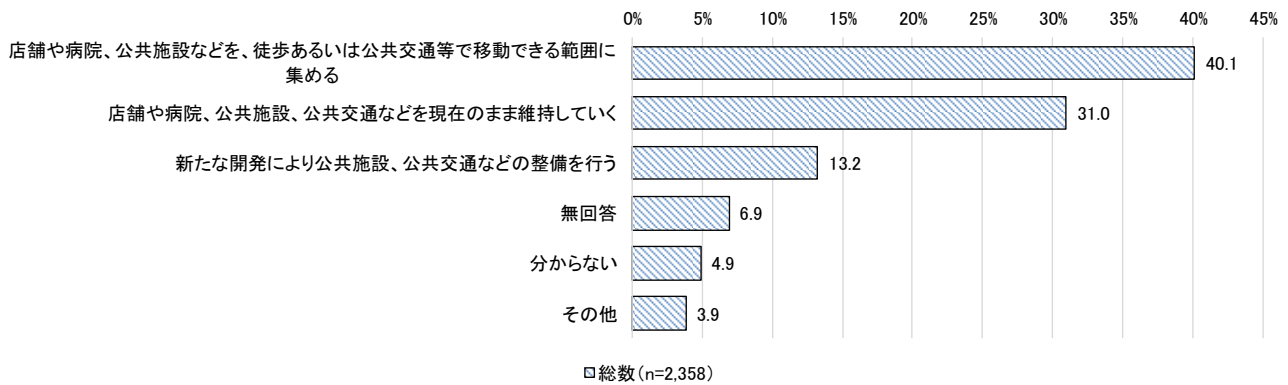
(世帯構成別)



【人口減少・高齢化社会における持続可能な都市づくり】

- 人口減少・高齢化社会において、持続可能な発展に向けて進めるべき都市づくりは、「店舗や病院、公共施設などを、徒歩あるいは公共交通等で移動できる範囲に集める」が 40.1%となっており、コンパクトシティ・プラス・ネットワークのまちづくりを進めていくべきと考えられる。

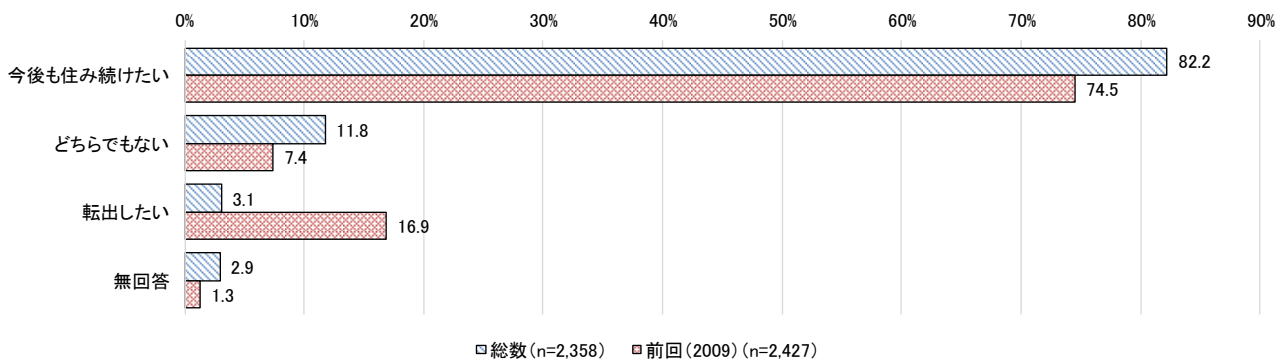
問4【3】人口減少・高齢化が進行する社会において、本市が持続的な発展を遂げるためには、どのような都市づくりを進めていくべきだと思いますか。（単数回答）



【定住意向】

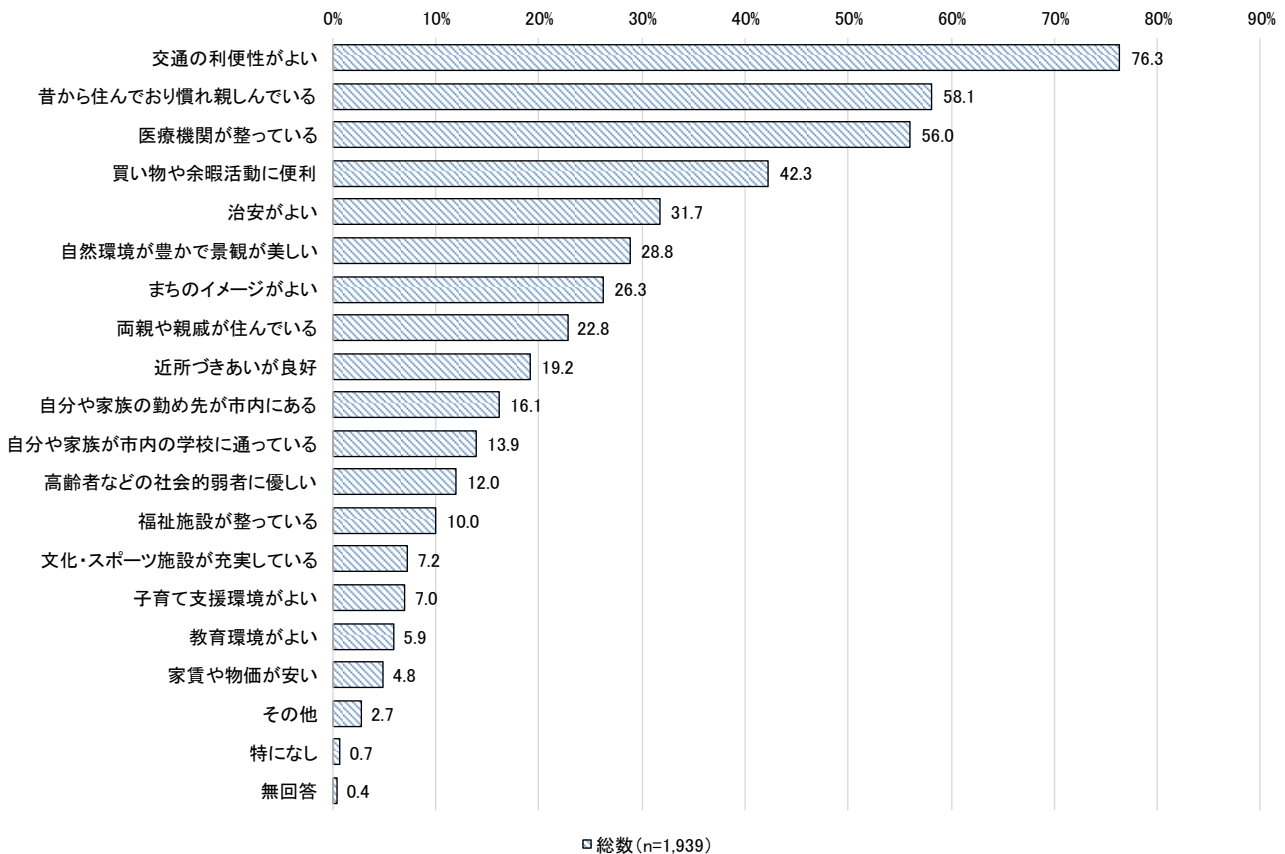
- 定住意向は、「今後も住み続けたい」が82.2%となっており、前回調査から7.7ポイント増加している。
- 「転出したい」は3.1%で、前回から13.8ポイント減少している。
- 住み続けたい理由は、「交通の利便性がよい」が76.3%、「昔から住んでおり慣れ親しんでいる」が58.1%、「医療機関が整っている」が56.0%、「買い物や余暇活動に便利」が42.3%となっている。

問5【1】高槻市に今後もずっと住みたいと思いますか。(単数回答)



問5【2】高槻市に住み続けたい理由は何ですか。(複数回答)

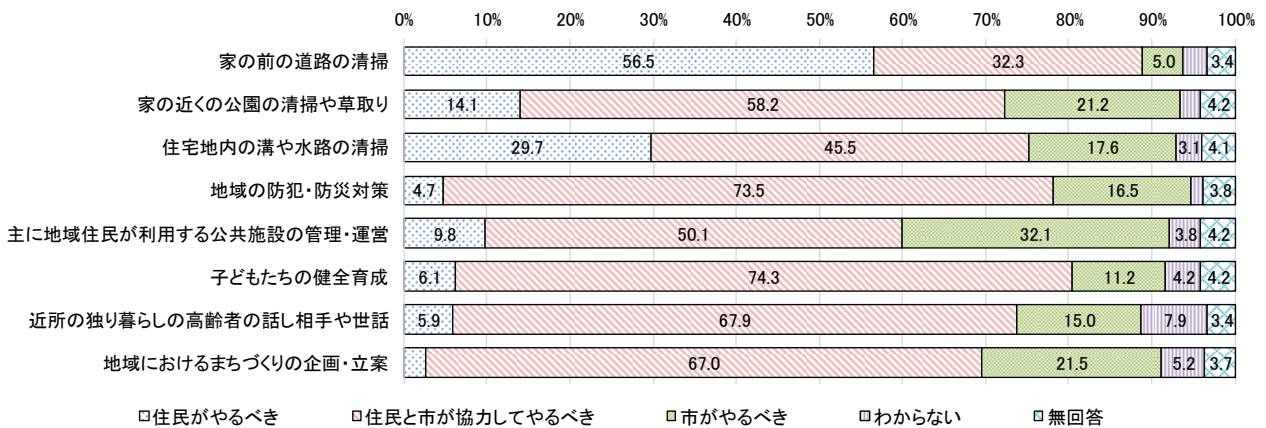
(定住意向で「今後も住み続けたい」を選んだ方のみ)



【地域づくり】

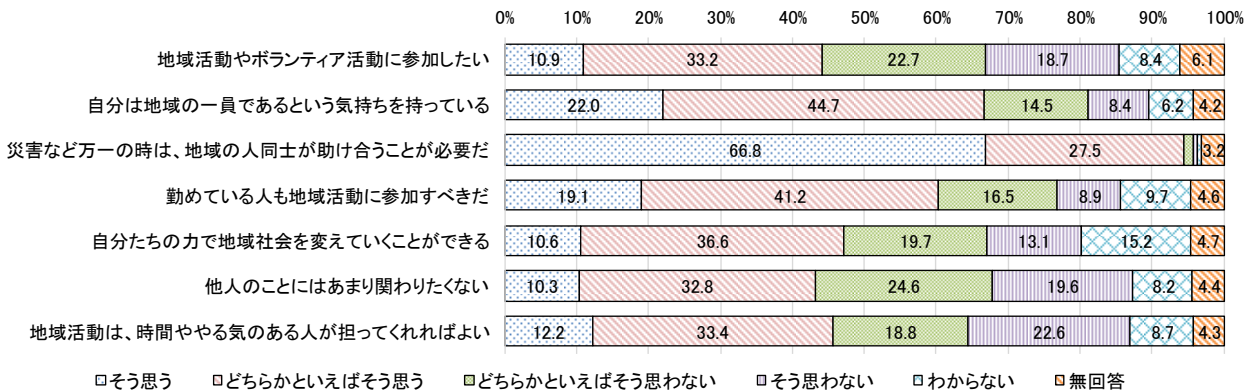
- 地域社会との関わりは、「災害など万一の時は、地域の人同士が助け合うことが必要だ」が「そう思う」と選択した割合が66.8%となっている。
- 住民参加の必要性は、「家の前の道路の清掃」を除き、「住民と市が協力してやるべき」の回答者が4割を超えている。

問6【1】地域社会との関わりなどについて、どのように思いますか。(単数回答)



n=2,358

問6【2】住民参加の必要性について、どのように思いますか。(単数回答)



n=2,358